

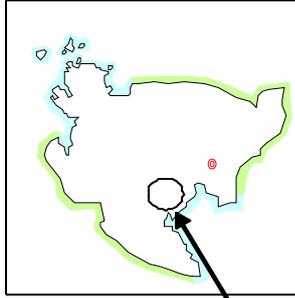
## 再評価結果（平成22年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：深澤 淳志

<b>事業名</b> 地域高規格道路 有明海沿岸道路 一般国道444号 福富鹿島道路	<b>事業</b> 一般国道 <b>区分</b>	<b>事業</b> 佐賀県 <b>主体</b> <b>延長</b> 3.6 km			
<b>起終点</b> 自：佐賀県杵島郡白石町大字牛屋 至：佐賀県杵島郡白石町大字深浦					
<b>事業概要</b> 当道路は、有明海北部沿岸地域の都市と重要港湾三池港や有明佐賀空港といった交通拠点との連携を強化する交流促進型道路である有明海沿岸道路の一部であり、一般国道444号のバイパス機能の役割も担っており、県都佐賀市と県西部地域の主要都市である鹿島市の連携を図る道路として極めて重要となっている。					
H17年度事業化	都市計画決定 無し	H一年度用地着手	H一年度工事着手		
全体事業費	約187億円	事業進捗率	約0.9%	供用済延長	0 km
計画交通量	21,000～21,200台/日				
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体)	2.3	<b>総費用</b> (残事業)/事業全体 132/134億円 事業費：130/132億円 維持管理費：2.0/2.0億円	<b>総便益</b> (残事業)/事業全体 310/310億円 走行時間短縮便益：287/287億円 走行経費減少便益：21/21億円 交通事故減少便益：1.2/1.2億円	<b>基準年</b> 平成21年
	(残事業)	2.3			
<b>事業の効果等</b> ・円滑なモビリティの確保（第三種空港へのアクセス向上） ・国土・地域ネットワークの構築（地域高規格道路）					
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 佐賀市から鹿島市までの沿線市町や県議会議員及び商工会等で構成する有明海沿岸道路建設促進佐賀県期成会（会長：佐賀市長）による要望活動が行われている。					
<b>事業評価監視委員会等の意見</b> 事業者の事業継続の判断については、審議の結果、委員会としても妥当と判断する。					
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> ・国道444号の交通量が増加している。 ・平成18年度に隣接工区の佐賀福富道路に工事着手。 ・平成20年度に福岡県の大牟田市から大川市までが開通。					
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 環境影響評価法の手続き中。					
<b>施設の構造や工法の変更等</b> 本工区は、全線軟弱地盤上に構築することとなるため、地盤特性を的確に把握し効率的な軟弱地盤対策工法を選定しコスト縮減を図る。					
対応方針	事業継続				
<b>対応方針決定の理由</b> 以上の事業の効果及びコスト縮減等の内容、事業評価監視委員会における審議、知事等の意見を踏まえると、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					

事業概要図



福富鹿島道路



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。